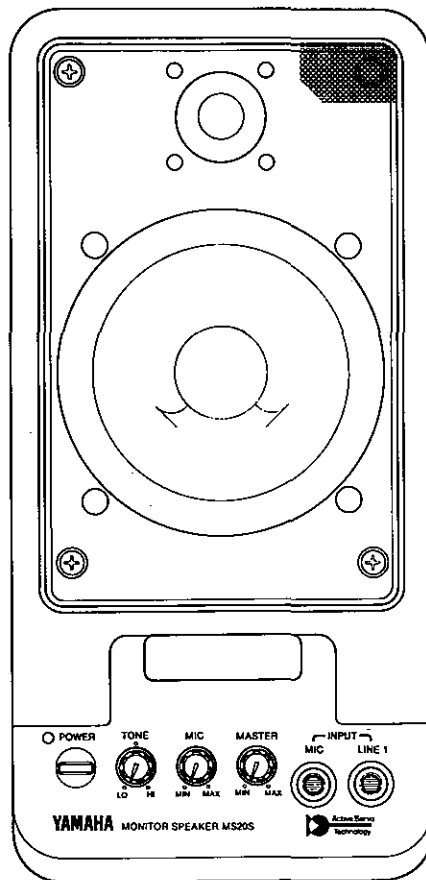




MONITOR SPEAKER

MS20S

取扱説明書



このたびは、YAMAHA MS20S モニタースピーカーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MS20Sはヤマハアクティブサーボテクノロジー技術を採用しておりますので、コンパクトサイズながら優れた低域再生能力と音質をそなえております。

また、20Wの出力パワーアンプとマイクインプット、ラインインプットのミキシング機能を搭載しておりますので、幅広い用途にお使いいただけます。

MS20Sの優れた性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を是非お読みくださいますようお願いいたします。

！安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

- △：注意(危険・警告を含む)を促す事項
- ⊘：決しておこなってはいけない禁止事項
- ：必ずおこなっていただく強制事項

警告 この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置される時



- この機器は**AC100V**専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器に**水**が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
- この機器の**通風孔**をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、この機器のケースの前・後部には通風孔があけてあります。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。とくに、次のような使い方は避けてください。
 - ・ 機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ 本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。
 - ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。
- **電源コード**の上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かず重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることは、起こりがちなことです。で、十分にご注意ください。



- この機器のポートや通風口に**金属類**や燃えやすいものなどを差し込んだり落としこんだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくに、お子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に**水**などの入った容器や小さな**金属物**を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。
- **電源コード**を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。

使用中に異常が発生したとき



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときは、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、異常がおさまるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

- 内部に**水**などの異物が入った場合は、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になる時



プラグをコンセントから抜く

- 雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



接触禁止

- **落雷**のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



分解禁止

- この機器を**改造**しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器の**カバー**は絶対に外さないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、お買上げ販売店にご依頼ください。



- 断線・芯線の露出など、**電源コード**が傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを**破損**した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置される時	ご使用になるとき
 <ul style="list-style-type: none"> 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> オーディオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。 電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> 旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。火災の原因となることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> 音が歪んだ状態で、長い時間、使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> 機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 	<h3 data-bbox="973 851 1236 884">お手入れについて</h3>  <ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントからぬいてください。感電の原因となることがあります。  <ul style="list-style-type: none"> 定期的な機器内部の掃除が必要です。長いあいだ掃除をせずに、機器の内部にほこりがたまったままにしておくと、火災や故障の原因となることがあるからです。掃除および費用については、お買上げ販売店にご相談ください。掃除の間隔は1年に一度くらい、時期は湿気の多くなる梅雨の前が、もっとも効果的です。

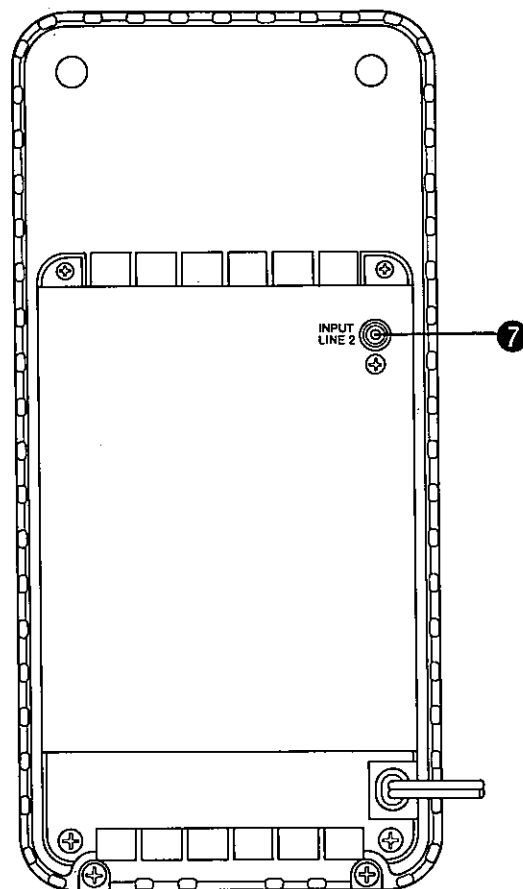
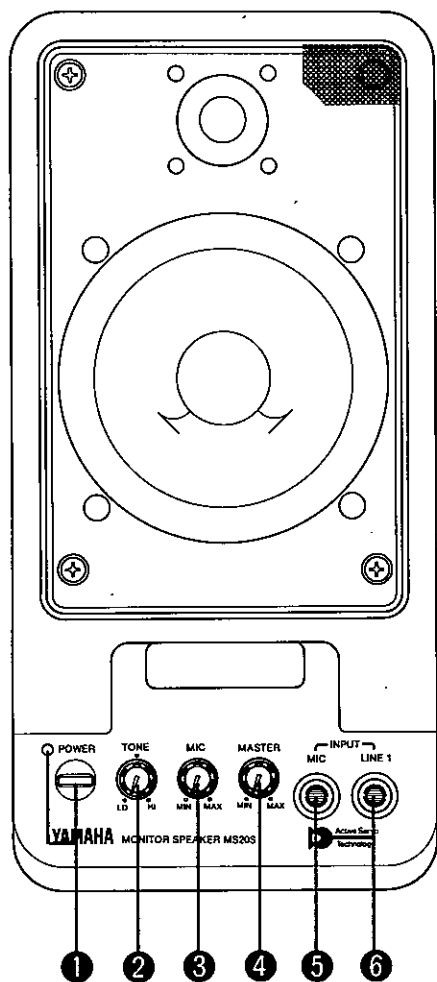
目次

フロントパネル リヤパネル	1
接続例	2
仕様	3
ブロックダイアグラム	3
寸法図	4
オプション	4

特長

- ポート付きキャビネットと、マイナス出力インピーダンスを持つアンプの組合せによるヤマハアクティブサーボテクノロジーにより、低音域を忠実に再生。
- 12cm コーンウーファーと3cm コーンツイーターにより、クセの無いフラットでクリアーな音質を実現。
- 3系統の充実した入力系を持ち、マイクおよび、ラインレベル機器接続が可能です。
- 簡易防磁設計ですので、AV 機器との組合せも可能です。(“安全上のご注意”の項目をお読みください。)
- 豊富な別売りオプションにより、スタンド使用も可能です。

フロントパネル リヤパネル



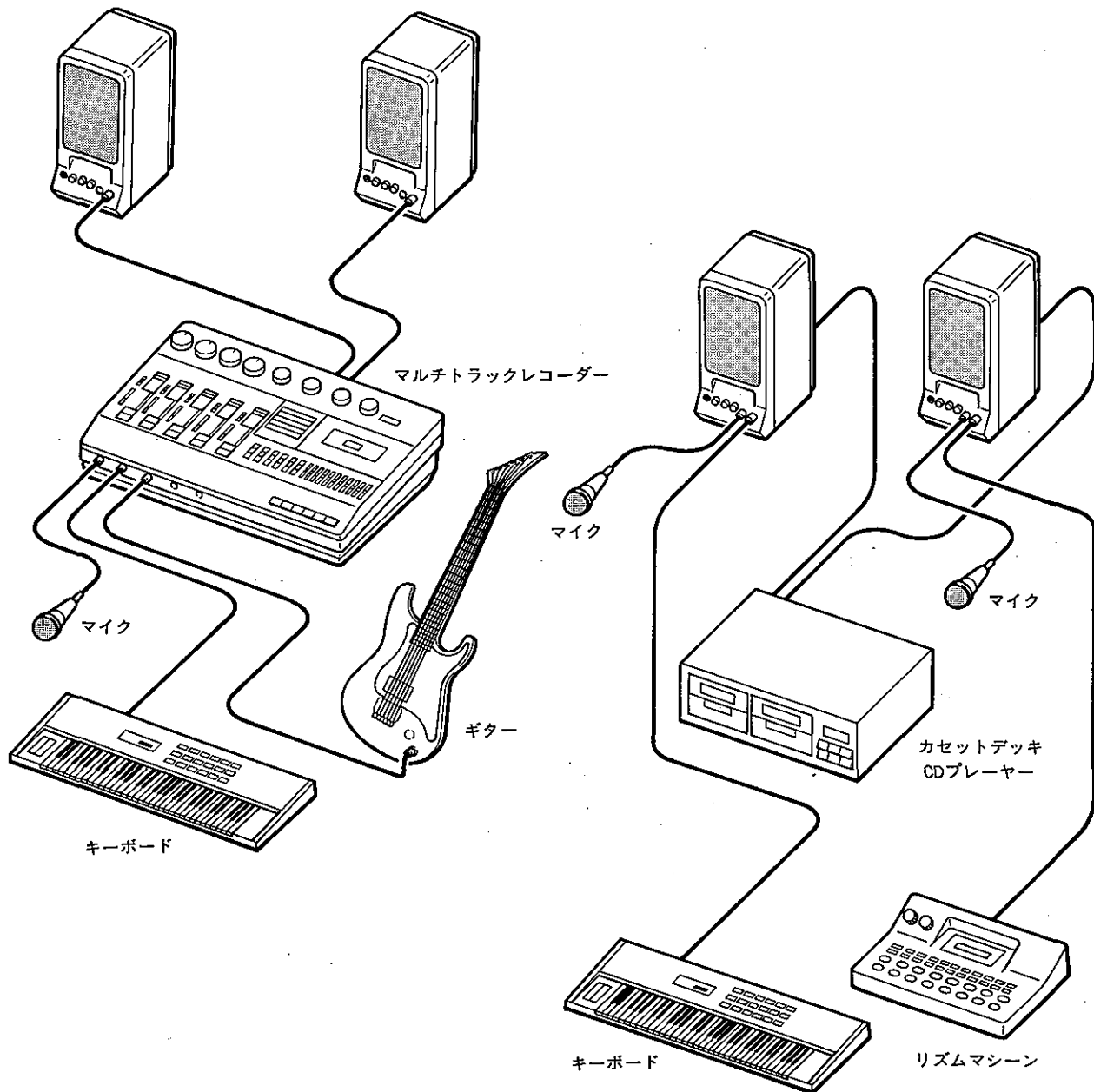
- ① POWERスイッチ/インジケータLED**
 スイッチをONにすると電源が入り、POWERインジケータLEDが点灯します。
- ② TONEコントロール**
 左へ回すと、低音域(100Hz)が+4dB上がり、右へ回すと、高音域(10kHz)が+7dB上がります。
- ③ MIC(ボリューム)**
 ⑤に接続されたマイクの音量を調整します。
 ③のMASTERのつまみがMINの位置にあるときはこのつまみ(MIC)を廻しても音はでません。インプットLINE1、LINE2の音量とマイク音量のバランスをこのつまみで合わせます。
- ④ MASTER(ボリューム)**
 このつまみで全体の音量 (MIC入力及びLINE入力) を調整します。
- ⑤ MIC INPUT**
 標準1/4インチホンプラグのマイクを接続します。
- ⑥ LINE 1 INPUT**
 キーボードなどの電子楽器をこの標準1/4インチホンジャック入力端子に直接接続することができます。
- ⑦ LINE 2 INPUT**
 テープデッキ、CDプレーヤー、ビデオディスクプレーヤーなどのオーディオ機器をこのRCA入力端子に直接接続することができます。

接続例

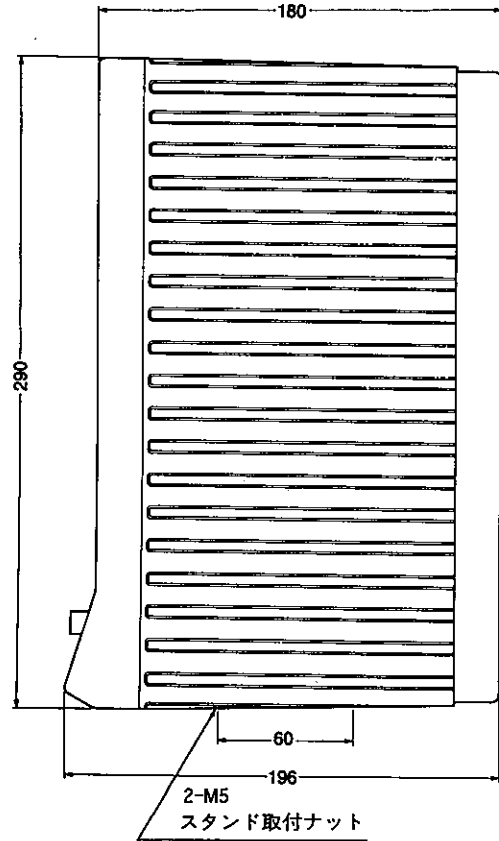
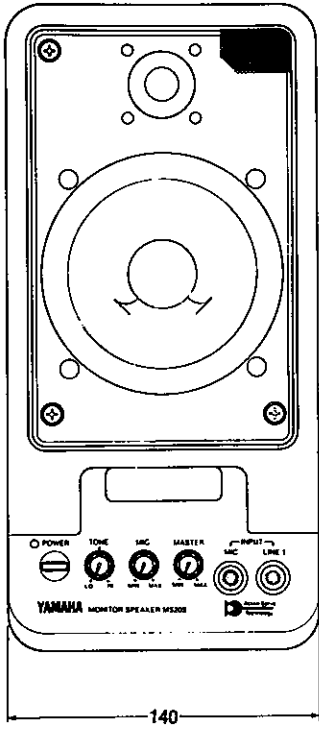
MS20Sは、幅広い用途をその特長としており、使用システムの種類、必要性によって、接続方法が異なります。以下に、その一例を掲げます。

2台のMS20Sを、ステレオモニターシステムでのアンプ代わりに使用できます。フロントパネルのINPUT MICにマイクを、INPUT LINE 1に電子キーボードやリズムマシンを接続しリヤパネルのINPUT LINE 2にCDプレーヤーを接続すれば、音楽に合わせて演奏しながら歌うことができます。

注：システムコンポーネントの電源をオン/オフする場合は必ずMS20S本体のボリュームをしぼった状態で行なって下さい。



寸法図



サービスについて

■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていただきますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

●お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-5085 (電話受付=祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

●営業窓口

PA・DMI事業部 PA営業部

北海道営業所	☎ 011-512-6106	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台営業所	☎ 022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
東京事業所	☎ 03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2丁目17-11
名古屋営業所	☎ 052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪事業所	☎ 06-6647-8359	〒556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル
九州営業所	☎ 092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
国内営業課	☎ 053-460-2455	〒430-8650	浜松市中沢町10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスセンター	☎ 011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 044-434-3100	〒211-0025	川崎市中原区木月1184
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
広島サービスステーション	☎ 082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎ 092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。

※ 2000年6月現在

ヤマハ株式会社

PA・DMI事業部 PA営業部 ☎ 053-460-2455
〒430-8650 浜松市中沢町10-1